Top Message

株主の皆様へ

純利益１兆円は通過点。
新しいステージに
ふさわしい、
バージョンアップした
三菱商事をつくっていく。

2024

2024年11月
代表取締役 社長

三菱商事グループの
さらなる進化を目指して

感謝の気持ちを心に刻む

当社は本年７月に創立70年という節目を迎えました。

さかのぼること70年前。戦後、旧三菱商事は解散。その後設立された百数十の会社が集約・合併を重ね、「大合同」を成し遂げ、現在の三菱商事が生まれました。その後、「商社冬の時代」や「商社不要論」が叫ばれた厳しい時期を乗り越え、三菱商事グループは成長を続けています。

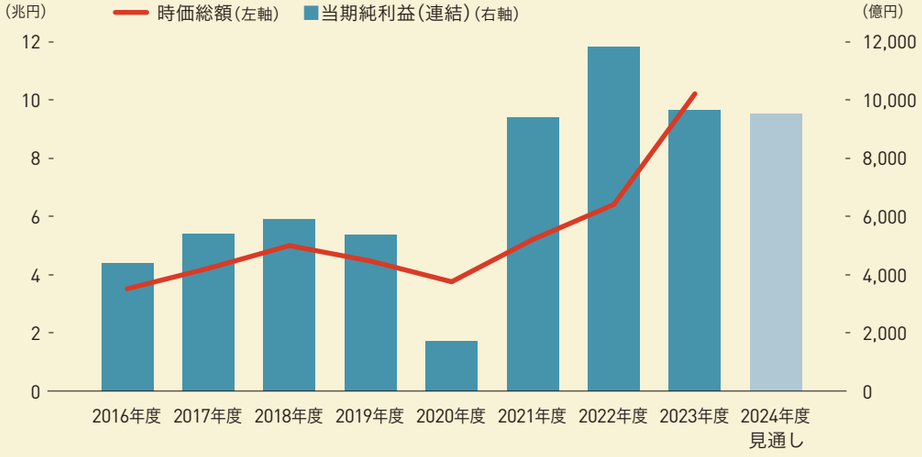
これまで事業環境の変化に応じて事業モデルを柔軟に変化させてきましたが、その変化を実現してきたのは、高い志を持って社会課題に挑戦してきた社員に他なりません。

さらに、株主・投資家の皆様、事業パートナーの皆様やお客様など、多くのステークホルダーの皆様のご支援があったからこそ、70年という長い歴史を築き、持続的な成長を実現することができたと考えています。当社を日頃から支えてくださっている多くのステークホルダーの皆様にこの場を借りて感謝申し上げます。

純利益１兆円は通過点

直近の業績に目を向けると、2022年度の連結純利益で過去最高となる１兆円超えを達成し、続く2023年度も過去２番目の水準となる9,640億円となりました。「稼ぐ力」の向上や「循環型成長モデル」の着実な実践は

■2016年度以降の歩み



中経2018	中経2021	中経2024
中経2018	•「事業投資」から「事業経営」へのシフト •事業のライフサイクルを踏まえた入れ替えの加速 •会社を支える「経営人材」の育成強化	
中経2021	•「循環型成長モデル」の実践によるポートフォリオの強靭化 •事業構想力とデジタル戦略の強化 •経営人材の登用・育成を見据えた人事制度の改革	
中経2024	•MC Shared Value（MCSV）」の創出 •EX戦略・DX戦略・未来創造による成長 •「循環型成長モデル」への取組み加速 •多彩・多才な人材のつながる活気に満ちた組織	

2024年度第2四半期業績などについては、当社のホームページをご参照ください。

皆様からも高く評価いただいています。

直近の中経を振り返ると、「変化への対応力」をテーマに、事業投資から事業経営へのシフトを加速させ、循環型成長モデルを実践してきました。

2022年度から始めた「中期経営戦略2024」では、これまでの経営戦略をさらに進化させ、より筋肉質なポートフォリオへの転換を図っています。

「三菱商事グループ」を問い直す

さらなる飛躍を目指し、将来の会社の礎となる次期中経の策定を進めています。新しいステージにふさわしい、バージョンアップした三菱商事グループをつくっていく重責を実感していると同時に、創業当時から大切にしている「三綱領」の価値観を堅持していく必要性も認識しています。これから、どのような成長戦略を描くべきか。どのような企業グループになりたいのか。そして社会の中で、どのような存在であるべきか。「三菱商事」とは何物か。

多様な価値観が生まれ、経済・社会の在り方が大きく変化している激動の今だからこそ、こうした根源的な問いに真正面から挑むべきタイミングだと考えています。

創立70年という節目に次期中経を策定することは、新たな「グループ像」を打ち立てる絶好の機会になると捉えています。これまでの経営の変遷とその背景を改めて振り返り、歴史をかみしめて未来へのエネルギーにしたいと思います。

The 70th Anniversary